

授業科目名・形態	障がい者（児）の福祉 講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	中里 操・脇山園恵・林 宏二・	開講期	2年後期 単位数 2

【授業の主題】

「障がい」について制度面を含めた理解を深めるとともに、広汎性発達障害などの近年になって社会的な関心が高まっている障がいについても理解を深める。さらに、就労支援、ボランティアによる支援など、障がいのある人々を含め全ての人にとって暮らしやすい社会づくりがどうあるべきかを考え、将来、看護や福祉の専門職としての実践に活用できる知識や理念を修得する場とする。

【到達目標】

- 1) 社会的な関心が高まっている「障がい」についての制度を理解すること。
- 2) 障がいのある人々を含め全ての人にとって暮らしやすい社会づくりについて理解すること。

【授業計画・内容】

- 第1回 「障がい」について考えるープロローグー（全員）
- 第2回 障がい者（児）の福祉の歴史を考えるー収容主義からの脱却と地域生活支援ー（林）
- 第3回 障がい者（児）に対する福祉的支援制度と仕組み（林）
- 第4回 障がい者（児）を巡る最近の社会動向について（林）
- 第5回 近年、社会的関心が高まっている障がいについて①ー広汎性発達障がいその1ー（ ）
- 第6回 近年、社会的関心が高まっている障がいについて②ー広汎性発達障がいその2ー（ ）
- 第7回 近年、社会的関心が高まっている障がいについて③ー高次脳機能障がい、難病ー（ ）
- 第8回 バリアフリーとユニバーサルデザインー全ての人にとって暮らしやすい社会づくりー（脇山）
- 第9回 障がい者就労支援のカウンセリングとプログラム（脇山）
- 第10回 障がい者の雇用制度の現状とキャリア形成（脇山）
- 第11回 障がい者の障害の種別によるキャリア支援の方法（脇山）
- 第12回 障がい児療育についてー保健・医療・福祉・教育の連携の視点からー（中里）
- 第13回 障がい者支援ボランティア①一人ひとりのニーズにそった支援の仕方を考える（中里）
- 第14回 障がい者支援ボランティア②地域に広げる視点、インフォーマルなつながりの重要性（中里）
- 第15回 障がい者（児）の福祉を考えるーエピローグー（全員）

【授業実施方法】 講義(グループ討議等を随時行う予定である)

【授業準備】

講義内容を踏まえ復習を中心に、講義中に指摘する障がいに関わる問題について、新聞や参考書を用いて確認すること。

【主な関連する科目】 「社会保障論Ⅰ」「社会福祉概論Ⅰ」

【教科書等】 特に指定しない。

【参考文献】 随時、講義の中で紹介する。

【成績評価方法】 出席状況・授業態度30%、レポート課題等70%により評価する。

【学生へのメッセージ】

本講義では、各教員の現場での体験などをもとに、障がい者（児）の福祉に関する今日的なテーマを中心に取り上げる予定である。受講する学生には、新聞報道などにも関心を持ち、社会の中で障がい者（児）の状況がどうなっているか、自ら主体的に学びながら受講してほしい。